

あいち朝日遺跡ミュージアム



朝日遺跡マスコットキャラクター
「アカ」と「クロ」

観覧料

区分	個人	団体 (20名以上)	年間 パスポート	清洲城 共通券	体感したみ古墳群 ミュージアム共通券
一般	300円	250円	1,000円	500円	400円
大学生・高校生	200円	150円	600円	—	300円

※学校行事(高校以下)及びその引率者、中学生以下、障がい者の方及びその付添いの方(1名まで)は無料

施設案内

- 住所 〒452-0932 愛知県清須市朝日貝塚1番地
- 電話 052-409-1467 ● 開館時間 9:30～17:00
- 休館日 月曜日(祝休日の場合、翌平日)及び年末年始(12/28～1/3)



あいち朝日遺跡

検索

SNSもご覧ください [公式HP] <https://aichi-asahi.jp/>



復元建物と体験水田



ミュージアム本館

映像・ジオラマで 朝日遺跡を紹介



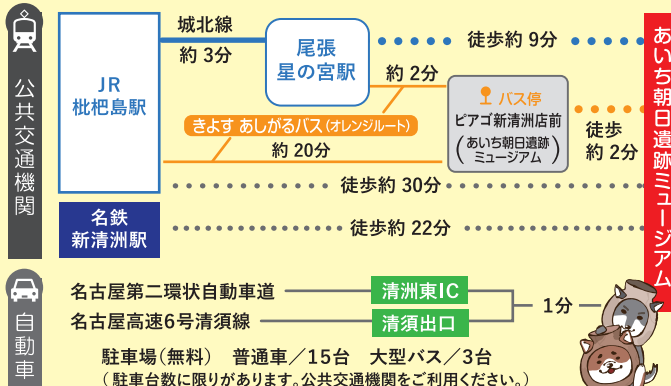
土器の造形

重要文化財朝日遺跡出土品



キッズ考古ラボで
弥生道具体験！

アクセス



編集・発行 あいち朝日遺跡ミュージアム 2022年3月

重要文化財

2021 年度

愛知県朝日遺跡出土品の保存修理



朝日遺跡は、清須市、名古屋市西区に所在する、弥生時代の大規模な環濠集落です。逆茂木・乱杭などからなる強固な防御施設、埋納された銅鐸、玉作りの工房跡など、重要な発見が相次ぎ、東海地方を代表する弥生集落として知られています。

平成 24 年 9 月には、貴重な出土品 2,028 点が重要文化財に指定されました。その内容は、土器・土製品 727 点、木器・木製品 253 点、石器・石製品 650 点、ガラス小玉 121 点、金属製品 37 点、骨角牙貝製品 240 点と多岐にわたり、弥生時代の多様な生業、生産・流通の様相を考証し、精神生活を推察するうえで極めて重要な資料となっています。

愛知県では、この貴重な文化遺産を、将来にわたって大切に保存・活用するために、国の補助を受け、平成 25 年度から朝日遺跡出土品の保存修理事業を実施しています。

愛知県

2021 年度の保存修理

土器・土製品

遺跡で見つかる土器のほとんどは、割れて破片となって出土します。これらをパズルのようにつなぎ合わせ、接着剤や石膏^{せっこう}を用いて、元の形へと復元します。図や写真など記録を作成した後は、そのまま収蔵庫に保管されます。しかし、復元後長い年月が経つと、接着剤や石膏による接合部が劣化し、形にゆがみが生じ、最悪壊れてしまうことがあります。

土器の保存修理は、まず土器を解体し、破片の状態に戻します。再度破片を接合し、元の形を復元していきます。欠損部は樹脂で補い、補彩します。このように保存修理された土器は形状が安定し、長期間の保存や展示等公開できるようになります。2021 年度は、壺形土器 3 点の保存修理を実施しました。

保存修理の工程 壺形土器 134 (134)



①修理前
接合部や古い石膏が劣化し、土器が壊れやすくなっていました。



②解体
土器の接着剤を除去し、破片の状態に戻します。



④修理完了
樹脂で補った部分を彩色し目立たなくし、完成です。



③接合・樹脂充填
再度破片を接合し、欠損部を樹脂で補います。

木器・木製品

木製品は、発掘調査の後保存処理が施されていますが、経年劣化により接合部が破損したり、再処理が必要なものもあり、修理の緊急性が高いものが多いといえるでしょう。

2021 年度は経年劣化によって、接合部がはずれかかっていたり、亀裂が広がってしまった田下駄^{たげだ}、鍬^{くわ}、鋤^{すき}を修理しました。

また、安定して保管するための保存台を制作したことで、安全に公開・活用ができるようになりました。

保存修理の工程 鍬 25 (773)



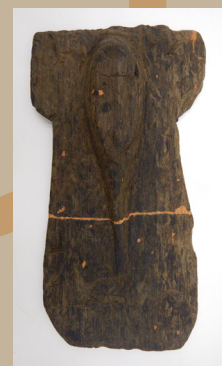
①修理前
接合部や古い樹脂が弱くなり、非常に脆くなっていました。



②解体
接合部をはずし、不要な樹脂等を除去します。



④修理完了・保存台
樹脂で補った部分を彩色し目立たなくし、完成です。また、シリコン樹脂で保存台を作成し、出土品を安定した状態で保管できるようになりました。



③接合・樹脂充填
再度接合し、欠損部や虫穴状の部分に樹脂を充填します。